2026年 初秋 号外

幸助通信

しもの幸助後援会
〒510-0204　鈴鹿市稲生西3丁目14-1
TEL.059-387-0721　FAX.059-387-0722

前衆議院議員

しもの 幸助

こうすけ

地元の声を、
次こそカタチに。

電気工事屋の息子

しもの幸助 公式LINE

最新情報更新中！

登録お願いします！

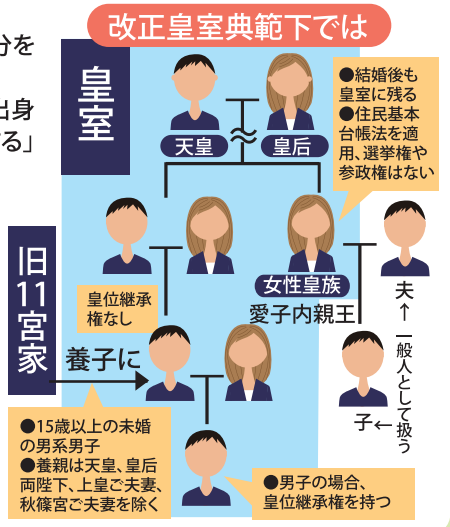
国会 REPORT 第221回国会ご報告（2026年2月18日～7月25日／158日間）

158日間にわたって開催された第221回国会から皇室典範の改正と副首都構想の2つをご紹介します。

1 改正皇室典範

今回成立した改正皇室典範では
①女性皇族が結婚後も皇族の身分を保持」すること
②650年以上さかのぼる『旧宮家出身の男系男子を養子縁組で皇族とする」ことを法制化しました。

さらに、女性皇族の夫と子は皇族としない一方で、養子に男子が生まれれば、皇位継承資格を持つことが明記された点などについて、野党側からは批判が相次ぎました。こうした点を踏まえ、また、今後、女性天皇の是非も含め、安定的な皇位継承についてどのように議論を進めていくか注視していきたいと思います。



2 副首都機能の整備の推進

「副首都構想」とは簡単にいうと、大規模な災害などが発生して首都機能が損なわれたときのために、その機能をバックアップできる副首都をもうけ、東京への一極集中を是正しようという政策です。

目　的
- ■東京圏への一極集中を是正
- ■災害時に首都機能を代替
- ■日本の経済成長を牽引

要　件
- ■大都市地域特別区設置法に基づき、特別区を設置
- ■都市機能が集積され、経済活動が活発
- ■東京圏との同時被災の恐れが少ない

特別区を設置できる自治体
- ●人口200万人以上の政令指定都市(政令市)または
- ●同一道府県内で総人口が200万人以上になる政令市と隣接市町村

人口200万人以上の政令市は3市
- ●横浜市　約378万人
- ●大阪市　約275万人
- ●名古屋市　約233万人

ミニ集会のご案内

鈴　鹿
- 9／5（土）15:00～ 白子公民館
- 9／27（日）15:00～ 国府公民館
- 10／3（土）15:00～ 道伯公民館

四日市
- 10／18（日）11:00～ 四日市三浜文化会館
- 10／18（日）15:00～ 四郷地区市民センター

お気軽にご参加ください！（予約不要）

しもの幸助 視点

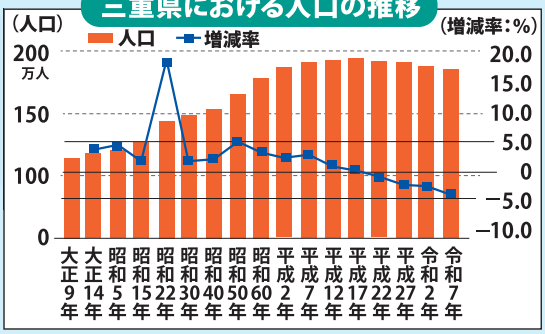
三重県の人口動態について

「人口減少問題」は、三重県の最重要課題です。

本年、三重県は150周年を迎えます。三重県の人口ピークは2007年の187万人でした。今後の人口減少対策が、県にとって最大の課題です。今後の三重県の最重要課題としてしっかりと取り組んでいきます。

三重県の人口
187万人（2007年）
↓
168万人（2026年）

三重県における人口の推移



三重県の年間人口減少数

人口減少要因	令和5年（2023年）確定値	令和6年（2024年）確定値	令和7年（2025年）概数	合計 直近3年間人口減少数
①自然減少数（出生数－死亡数：万人）	▲14,220人（1.0-2.4）	▲15,108人（0.9-2.4）	▲15,037人（0.9-2.4）	▲44,365人
②社会減少数（転入数－転出数：万人）	▲5,721人（2.4-3.0）	▲5,666人（2.4-3.0）	▲5,938人（2.4-3.0）	▲17,325人
三重県 年間人口減少数（①自然減少＋②社会減少）	▲19,941人	▲20,774人	▲20,975人	▲61,690人
三重県 合計特殊出生率	1.29	1.24	1.26	

今後は年間2万人以上の減少が見込まれる

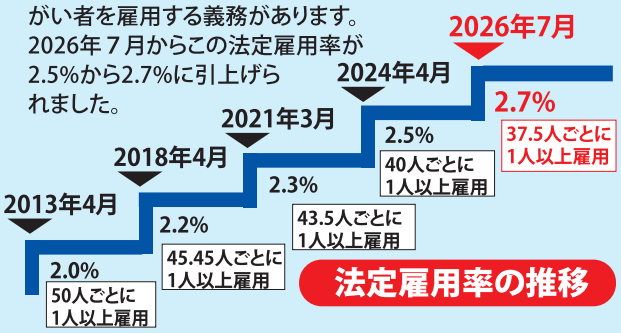
転入・転出の差
愛知／約2千人
東京／約1千人
大阪／約850人

人口減少による主な課題

1. 少子高齢化の進展／高齢化率は30%以上へ
2. 生産年齢人口の減少（特に20～40歳代の女性の県外転出）による
   ①国内需要の減少 ②経済規模の縮小 ③労働力不足
3. 医療・介護費の増大など社会保障制度の給付と負担のバランス崩壊
4. 基礎的自治体の担い手の減少

障がい者の法定雇用率の引上げ

誰もが職業を通じた社会参加のできる「共生社会」を実現していくため、すべての事業主に、法定雇用率以上の割合で障害がい者を雇用する義務があります。
2026年７月からこの法定雇用率が2.5%から2.7%に引上げられました。



法定雇用率の推移

2026年8月から 高額療養費制度が改正されました

高額療養費制度とは1か月の医療費の自己負担額が高額になった場合に、その超えた金額を支給する制度です。

自己負担の上限額（月額）の変更

所得区分（年収の目安）	2026年7月まで	2026年8月から
約1,160万円～	252,600円＋（医療費−842,000円）×1%	270,300円＋（医療費−901,000円）×1%
約770～約1,160万円	167,400円＋（医療費−558,000円）×1%	179,100円＋（医療費−597,000円）×1%
約370～約770万円	80,100円＋（医療費−267,000円）×1%	85,800円＋（医療費−286,000円）×1%
～約370万円	57,600円	61,500円
住民税非課税者	35,400円	36,900円

しもの幸助サポーターズ

再挑戦に向けて、ご支援をお願いします。

国政政党の枠にとらわれず、地域に根ざした独自の応援団として『しもの幸助サポーターズ』を募集中です。再出発にあたり、皆様に物心ともにご支援をよろしくお願い申し上げます。

■お一人様一口3,000円
（後援会ご寄付）からお願いします。
【ご入金先】三十三銀行白子支店
普通預金　口座番号　1341009
しもの幸助後援会
※振込手数料は振込者様にてご負担願います。

しもの幸助 プロフィール

1976年11月	鈴鹿市に生まれる	
1989年 3月	鈴鹿市立白子小学校	卒業
1992年 3月	鈴鹿市立鼓ケ浦中学校	卒業
1997年 3月	国立鈴鹿高専 電気工学科	卒業
1999年 3月	国立豊橋技術科学大学工学部	卒業
2001年10月	内閣官房（国家公務員／内閣事務官）	
2008年 3月	慶應義塾大学院 経営管理研究科	修了
2008年 3月	アイシン精機（株）経営企画室	入社
2011年 4月	三重県議会議員（鈴鹿市）	初当選
2019年 6月	四日市港管理組合議会	議長
2023年 4月	三重県議会議員（鈴鹿市）4期連続当選	
2024年10月	衆議院議員（三重2区）	初当選
2025年10月	衆議院安全保障委員会	理事
2026年 2月	衆議院議員選挙（三重2区）	選挙 惜敗

三重県第2選挙区

■鈴鹿市（18.9万人）■亀山市（4.9万人）
■伊賀市（8.0万人）■名張市（7.2万人）
■四日市市南部（8.8万人）
日永地区 四郷地区 内部地区 小山田地区 塩浜地区
河原田地区 水沢地区 楠地区

（人口：約48万人）

しもの幸助（こうすけ） 事務所

鈴鹿事務所
〒510-0204 鈴鹿市稲生西3丁目14-1
TEL：059-387-0721 FAX：059-387-0722
E-mail: office@k-shimono.com

名張事務所
〒518-0702 名張市鴻之台2番町58-2
TEL：059-387-0721 FAX：059-387-0722
E-mail: office@k-shimono.com

しもの幸助 公式ホームページ

Instagram Kosuke Shimono

Kosuke Shimono

しもの幸助チャンネル YouTube